

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
	全体計画						経費区分		-		内線	3272
事務事業名	4302 創造の家管理事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費										
	事業	010000 創造の家管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるように、施設の充実と活性化を図る。						須坂市スポーツ協会を指定管理者として、須坂市青少年ホーム創造の家を委託し、施設の適切な管理運営及び、施設の有効活用を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。 次年度の指定管理者を選定する	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数				
算式	施設延べ利用者数+自主事業参加者				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績	4,851	6,534	8,946	
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、自主事業参加者の総数を指標とした。				
最終年度	令和4年度はコロナ過のため、目標数値は定めない。				
目標の根拠	令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		14,180	20,747
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1,650
一般財源		14,180	19,097
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	176.9
	計	703.7	880.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		14,883.7	21,627.6

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	468	修繕料468
12節 委託費	12,831	指定管理委託料12,831
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	881	手数料23、備品購入費858

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	0
10節 需用費	1,200	修繕料1,200
12節 委託費	16,497	指定管理者委託料14,273、宿泊業調査事業委託2,224
14節 工事請負費	1,760	火災報知設備改修1,760
18節 負担金補助及び交付金	0	0
その他	1,290	備品購入費1,290

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	根拠法令改正を受けH27に条例改正、勤労青少年の福利向上のため市が独自に設置している状況。勤労青少年の福祉向上のために事業として継続する必要性は高いとは言えない。今後より幅広い層への対象拡大を検討する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	H27に指定管理施設に移行し、その後施設の利用者は増加している。（コロナ禍の前は毎年延10,000人程度の利用あり） 勤労青少年ホームの位置づけを再考し、より幅広い活用の検討も必要でないかと考えられる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	老朽化した施設の長寿命化調査は実施済み。 大規模改修は行わず、必要な維持管理を実施し施設を活用していく方針。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

懸案であった軽運動室のエアコン設置のほか、必要箇所の修繕などを実施し、施設の利用環境の向上につながった。今後についても、費用対効果を図るとともに、利用者拡大の施策を指定管理者とともに検討していく必要がある。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		スポーツ協会の指定管理事業となっているが、施設について今の社会情勢や時代に即した施設意義と用途を検討し、施設の在り方の方向性が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3272
事務事業名	17749 創造の家整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費									
	事業	020000 創造の家整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
所管している施設が建設から年数が経過し、改修の時期を迎えているため計画的な修繕工事を要する。施設利用の拡大を視野に入れ必要な整備を行う。						老朽化の解消や法改正に対応する改修を実施し、今後も施設が安全・快適に利用することが可能となる。施設整備により、施設の有効活用、利用者層の拡大につながる。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
創造の家の駐車場の舗装工事を行い、施設利用の利便性向上を図る。	照明LED化等工事を検討。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		0	12,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	12,100
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	0.0	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	176.9
	計	0.0	880.6
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		0.0	12,980.6

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	0
10節 需用費	0	0
12節 委託費	1,100	測量設計委託1,100
14節 工事請負費	11,000	舗装工事11,000
18節 負担金補助及び交付金	0	0
その他	0	0

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	駐車場は利用者が平日休祝日に限らず利用者が多いが、舗装がされていないため、十分な駐車台数の確保が困難になるため、必要性が高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	駐車場は利用者が平日休祝日に限らず利用者が多いが、舗装がされていないため、十分な駐車台数の確保が困難になるため、必要性が高い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	緊急防災・減災事業債を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
—

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		スポーツ協会の指定管理事業となっているが、施設について今の社会情勢や時代に即した施設意義と用途を検討し、施設の在り方の方向性から施設整備を図る必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4306 文化活動振興事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費											
	事業	030000 文化活動振興事業											
事業目的						事業概要・効果							
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。						<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・信州岩波講座の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「第22回信州岩波講座2020」の開催（コロナで中止） ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第23回信州岩波講座2021」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「第24回信州岩波講座2022」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援 ・キッズシアタープロジェクトを支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第25回信州岩波講座2023」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援 ・キッズシアタープロジェクトを支援
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数						
算式	年間利用者数・入館者数					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	133,500	133,500	133,500	133,500		
	実績	92,725	97,840				
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理						
最終年度目標の根拠	令和4年度はメセナホール改修が完了したことから令和3年度実績35,726の約200%を目標数値とした。令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		42,631	47,302
特定財源	国庫支出金	7,925	7,925
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,007	2,002
一般財源		32,699	37,375
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.9
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,415.2	1,592.1
	計	2,118.9	2,295.8
市民一人当たりの経費		0.9	0.9
総額		44,749.9	49,597.8

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	413	消耗品費123、印刷製本費290
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	37,800	信州岩波講座共催負担金2,500、須坂キッズシアタープロジェクト負担金2,200、文化振興事業団自主事業補助金32,650、その他450
その他	4,418	報酬(会計年度任用職員)3,228、職員手当等(同左期末手当)539、共済費等(同左)638、役務費(郵便料)13

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	416	消耗品費90、印刷製本費326
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	43,350	信州岩波講座共催負担金2,500、須坂キッズシアタープロジェクト負担金2,200、文化振興事業団自主事業補助金37,650、文化芸術協会負担金1,000
その他	3,536	報酬（会計年度任用職員）2,261、職員手当等（同左期末手当）777、共済費（同左）478、役務費（郵便料）20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の文化芸術への関心を高め、豊かな市民生活を実現するため、指定管理施設の自主事業や、自主的な文化芸術活動や優れた芸術鑑賞活動を支援している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	文化振興事業団での自主事業、信州岩波講座、須坂キッズシアタープロジェクトの開催の他、文化芸術協会の活動等により、多種多様の文化芸術公演が行われ、市民の文化芸術に触れる大きな機会創出となっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化芸術活動は効率性だけでは測れないところがある。各種交付金等の財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各団体の文化芸術活動に関する補助金等については、一般財源の他、交付金（恋人の聖地偉業）を主にあてており、交付金がなくなった後の存続、継続について、検討が必要。
負担金支出団体に対しては、より効果的に、市民の文化に触れる機会創出につながる事業計画作成に努めることを求めたい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進のため支援や保存を継続していく必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	窪田
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	245-0784
事務事業名	4311 図書館管理運営事業	
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課	
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費
	事業	020000 図書館管理運営事業
事業目的		事業概要・効果
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。		図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催をととした市民の生涯学習活動の支援

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。市町村と県による協働電子図書館に参加し、2022年8月から利用を開始した。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等を行った。図書館システム更新に伴い、セルフ貸出機の設置など利便性を向上することができた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等を行う。	

指標名	年間入館者						
算式	令和3年度実績から年5%の増					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	115,680	66,893	70,237	73,748	77,435	
	実績	63,708	70,785	71,592			
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。						
最終年度目標の根拠	平成26年度利用者数（115,105人）より、年0.5%ずつの増※コロナ禍の影響を考慮し、令和3年度実績から年5%の増に目標変更						
指標名	年間貸出冊数						
算式	令和3年度実績から年4.5%の増					単位	冊
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標		232,562	243,027	253,963	265,391	
	実績	222,548	223,550	225,260			
指標選定の理由	コロナ禍の影響により、貸出方法を変更することもあるが、令和4年8月に運用開始する協働電子図書館も含めて、多くの方に図書館を利用し、読書に親しんでいただくことが重要であるため						
最終年度目標の根拠	2018(平成30)年度貸出冊数（265,330冊）の近似値						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 予算
事業費		54,451	61,116
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,047	10,077
一般財源		44,404	51,039
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	会計年度(フル)	1.0	3.0
	会計年度(パート)	9.9	8.9
人員コスト	正規職員	1,407.4	2,111.1
	会計年度(フル)	3,581.0	10,743.0
	会計年度(パート)	17,513.1	15,744.1
	計	22,501.5	28,598.2
市民一人当たりの経費		1.5	1.7
総額		76,952.5	89,714.2

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	105	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼105
10節 需用費	3,975	消耗品費538、燃料費17、食糧費12、印刷製本費79、光熱水費2,687、修繕料641
12節 委託費	3,686	保守点検委託料1,875、施設管理委託料510、ほか1,301
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	501	県公共図書館部会・支部負担金16、須高図書館協会負担金265、日本図書館協会負担金23、電子図書館事業負担金186、ほか11
その他	46,184	報酬17,031、役務費429、使用料及び賃借料6,349、備品購入費11,113、ほか11,262

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	175	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼175
10節 需用費	5,383	消耗品費694、燃料費31、食糧費20、印刷製本費39、光熱水費4,083、修繕料516
12節 委託費	3,615	保守点検委託料1,704、施設管理委託料569、ほか1,342
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	240	県公共図書館部会・支部負担金16、日本図書館協会負担金23、電子図書館事業負担金186、ほか15
その他	51,703	報酬18,328、役務費694、使用料及び賃借料6,593、備品購入費11,200、ほか14,888

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の生涯学習の支援は必要であり、図書の貸出や学習場所の提供は必要であると考えます。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民に親しみをもって利用される図書館として、地域に求められる資料の収集と提供に努めた。また様々な世代や分野のイベントを開催し、市民に学習機会を提供した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の狭さや老朽化など課題がある中で工夫して運営している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

年間貸出冊数の増については目標値を下回った。蔵書冊数に対して開架スペースが少なく、利用者が本を探しにくい状況があるため、館内レイアウトを今後も工夫する必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		実施計画の目指す姿を醸成するため、図書館の原点に立ち、学びの支援と活字文化の継承を創意工夫し、事業の刷新や利用者の満足度・利用数の向上、誰でもが継続的に利用でき管理運営等に取り組んでいく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	窪田
	全体計画						経費区分		-		内線	245-0784
事務事業名	16798 図書館整備事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費										
	事業	980000 図書館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽の利用できるよう図書館施設の長寿命化を図る						公共施設等適正管理推進事業債を活用し、老朽化している図書館の長寿命化改修を行う。 (2022年度に設計、2023年度に工事)						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
-	-
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
公共施設等適正管理推進事業債を活用し、老朽化している図書館の長寿命化改修の設計を行った。	公共施設等適正管理推進事業債を活用し、図書館長寿命化改修工事を行った。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		101,728	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	91,500	0
	その他	0	0
一般財源		10,228	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	703.7	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	703.7	0.0
市民一人当たりの経費		2.0	0.0
総額		102,431.7	0.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	101,728	図書館長寿命化改修工事101,728
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	建物屋根や外壁等、経年劣化や長雨により早急な改善が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設を今後も安全に使用するための改修を行うことができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	より長期の使用に耐えられるように改修を行うことで、施設の有効活用につながる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
工事完了。屋根・外壁・外構・電動書架の改修、照明LED化等を実施した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		実施計画の目指す姿を醸成するため、図書館を長く使用するため、施設の維持管理に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小林昌幸
	全体計画			経費区分	-	内線	026-246-7100
事務事業名	4313 博物館管理運営事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費					
	事業	020000 博物館管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。				まるごと博物館の実現に向けて、機能分散型総合博物 館拠点である博物館本館（現博物館）及び博物館別館 （笠鉾会館）において、資料の収集・保存及び調査研 究活動等を行い、特別展等の開催や各種講座・講演会 等の事業を推進し、市民の生涯学習の場とするととも に来館者の回遊性を高める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」参加者68人	「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」（本館）、 企画展示（分館）
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
まるごと博物館構想の具現化 企画展示、館外講座「臥竜山たんけん」（全11回）、ワ ークショップ（全5回）、小学校等学習支援、ボランテ ィア・研修等受入、各種団体との連携	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力、デジタルアーカイブ 学校への学習の支援
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力 学校への学習の支援	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力 学校への学習の支援

指標名	年間入館者数（市立博物館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	4,989	6,603	5,147	5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名	年間入館者数（笠鉾会館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	2,136	3,623	4,657	5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	令和3年度 市立博物館と同実績値（5,858）とし、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		39,313	45,711
特定財源	国庫支出金	1,500	1,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,299	2,617
一般財源		32,514	41,594
人員数（人）	正規職員	1.1	0.0
	会計年度（フル）	1.4	0.0
	会計年度（パート）	0.7	0.0
人員コスト	正規職員	7,740.7	0.0
	会計年度（フル）	5,013.4	0.0
	会計年度（パート）	1,238.3	0.0
	計	13,992.4	0.0
市民一人当たりの経費		1.0	0.9
総額		53,305.4	45,711.0

（単位：千円）

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	173	講師謝礼118、展示品借用・指導等謝礼・委員等謝礼55
10節 需用費	9,143	消耗品費1,065、燃料費80、印刷製本費2,010、光熱水費5,783、修繕料205ほか
12節 委託費	7,910	警備保障委託1,193、エレベーター等保守点検委託料2,490、樹木剪定等業務託料1,122、博物館魅力向上委託事業3,000ほか
14節 工事請負費	50	工事請負費50
18節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）ほか26
その他	21,884	報酬7,451、給料4,985、職員手当2,005、共済費2,358、旅費229、役務費1,388、使用料及び賃借料671、備品購入費9,992、公課費6

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	680	講演会・講座等講師謝礼330、収蔵品整理指導等謝礼350
10節 需用費	11,590	消耗品費1,111、燃料費100、印刷製本費2,761、光熱水費7,028、修繕料407、食糧費93
12節 委託費	7,261	館内警備保障委託1,194、エレベーター等保守点検委託3,067、博物館魅力向上事業委託3,000、
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	156	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金ほか133
その他	26,024	報酬9,097、給料5,248、職員手当4,601、共済費2,860、旅費620、役務費1,667、使用料及び賃借料538、備品購入費1,384、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民が、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、常設展示をはじめとする展示活動及び講座活動を開催している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	博物館の収蔵品・台帳化を確認し、今後の博物館展示に生かしている。2023年度特別展「須坂の太平洋戦争」を開催し、ギャラリートークや図録の販売、満州開拓団員の方の証言映像を流した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	博物館ボランティアの協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説などの収蔵品活動を進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の歴史・文化の概観を学ぶ拠点として、市民の歴史・文化学習に資するために特別展・講座等を開催し、情報発信に務めた。また、2023年度特別展「須坂の太平洋戦争」を開催し、須坂が太平洋戦争にどのように関わっていたのか、戦時下の須坂の人々の暮らしはどんな様子だったのか、当時の文書や道具、戦地からの手紙などを展示した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙参照		実施計画の目指す姿を醸成するため、機能分散型総合博物館の推進するため、市民や地域と一体となる賑わい創出等の取組みや、横断的連携による文化芸術振興のまちづくりが必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中村 紀子
	全体計画	令和 5年度	～	経費区分	－	内線	3623
事務事業名	4314 文化財調査研究事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	010000 文化財調査研究事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。				包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等による文化財の保護や、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の適切な保護に努めた。また重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の解除を行った。重伝建選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置し地域の合意形成に向けた説明会を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施し、適切な保護を実施した。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の新指定に向けて研究を進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の新指定に向けて研究を進める。	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		20,149	25,765
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,840	865
一般財源		18,309	24,900
人員数(人)	正規職員	0.8	0.7
	会計年度(フル)	1.0	0.8
	会計年度(パート)	1.9	1.0
人員コスト	正規職員	5,629.6	4,925.9
	会計年度(フル)	3,581.0	2,864.8
	会計年度(パート)	3,361.1	1,769.0
	計	12,571.7	9,559.7
市民一人当たりの経費		0.6	0.7
総額		32,720.7	35,324.7

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,356	埋蔵文化財等消耗品594、発掘調査報告書印刷195、燃料費188、埋蔵文化財整理室光熱水費236、修繕費1,143
12節 委託費	1,853	遺構測量委託891、発掘調査に係るシルバー委託費962
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	54	文化財保護協会負担金2、長野県立歴史館連携事業負担金52
その他	15,886	会計年度任用職員報酬・手当13,284、重機等借上料1,284、備品購入費753、ほか565

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	156	文化財調査指導等謝礼156
10節 需用費	1,991	埋蔵文化財伝建等消耗品588、埋蔵文化財出土品写真印刷30、埋蔵文化財整理室光熱水費325、修繕費840、燃料費200、食糧費8
12節 委託費	4,113	発掘調査に係るシルバー委託費2,000、遺構測量2,000、文化財看板作成委託113
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	102	文化財保護協会負担金2、県立歴史館連携協定負担金100
その他	19,403	会計年度任用職員報酬・手当15,378、重機等借上料3,340、ほか685

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	埋蔵文化財包蔵地で土木工事が行われる場合の調査は、文化財保護法により自治体を実施しなければならない事業である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	埋蔵文化財と埋蔵文化財包蔵地の適切な保護が図られている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性を鑑み、必要最低限の費用で事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

埋蔵文化財について適切に調査・保護を行うことができた。出土遺物などの活用について、調査報告書の発行以外にも検討する必要がある。
 専門知識を持つ職員の採用・育成を進めなければならない。
 文化材指定を議論するための研究を進める体制が整っておらず、文化財審議委員会が開催できなかった。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		実施計画の目指す姿を醸成するため、埋蔵文化財の調査結果を学びに活かしていくことが必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村 紀子
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3623
事務事業名	4315 文化財保存活用事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費									
	事業	020000 文化財保存活用事業									
事業目的						事業概要・効果					
文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。						「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。 既存の文化財検索サイトを「須坂のまるごと博物館」サイトにリニューアルし、内容を充実させた。	「須坂のまるごと博物館」サイトとアプリを活用して文化財の情報発信を行った。文化財の適切な維持管理を行って文化財の保存と活用を図った。文化財を管理する個人に対し、補助を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
各種情報発信と、文化財の維持管理、保存、活用を図った。 史跡見学者のためのトイレや標柱を修繕し環境整備を行った。	「須坂のまるごと博物館」サイトを活用して各種情報発信を行った。文化財の維持管理、保存、活用を図った。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理、保存、活用を進める。	

指標名	「須坂のまると博物館」サイトによる文化財などの公開						
算式	累計公開件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	930	950	970	990	1,000	
	実績	900	920	924			
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用						
最終年度目標の根拠	令和3年度の実績に合わせて目標値を見直した						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		9,357	10,950
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,098	2,736
一般財源		7,259	8,214
人員数(人)	正規職員	0.8	0.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	5,629.6	4,925.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,415.2	1,415.2
	計	7,044.8	6,341.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,401.8	17,291.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	472	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼472
10節 需用費	1,662	文化財各種修繕930、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費574、消耗品90、燃料費56、食糧費12
12節 委託費	1,916	文化財公開維持管理に係る委託1,129、保存活用倉庫等警備委託231、樹木等伐採委託155、除草等シルバー委託401
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,717	文化財保存活用補助金1,717
その他	3,590	会計年度職員手当・共済費2,742、役務費455、土地等借上げ117、備品購入費275、その他1

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	560	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼505、各種講座等での講師謝礼55
10節 需用費	1,626	文化財各種修繕等770、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費696、消耗品89、燃料費56、食糧費15
12節 委託費	2,184	文化財公開維持管理に係る委託1,191、文化財倉庫に係る警備委託243、樹木伐採委託250、除草等シルバー委託500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,450	文化財保存活用補助金1,450
その他	5,130	会計年度任用職員報酬手当・共済費3,351、役務費409、備品購入1,188、土地等借上げ118 その他64

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	文化財の保護は永久に継続していかなければならない事業であり、文化・芸術・交流活動の推進と継承のために必要となる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	各種指定文化財について適切な管理を行い、良好な状態で保存できている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化財の保護と管理にはある程度費用がかかる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

指定文化財は良好な状態で保存されている。
文化財の公開・活用の取組みをさらに進める必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、保存活用を基本に刷新を図りつつ、文化財への親しみや理解を進めていくことが不可欠である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	栗田 利一
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3272
事務事業名	16850 伝統的建造物群保存事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	030000 伝統的建造物群保存事業					
事業目的				事業概要・効果			
歴史的町並みが将来に向けて適切に保存され、有効に活用されることで守り伝えるため、文化財保護法の「重要伝統的建造物群保存地区制度(重伝建)」を活用したまちづくりを進める。				歴史的な町並みを後世に伝えるために重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指し、須崎市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく須崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会により、保存活用計画案等について審議いただいた。 また、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取組みに対する地域住民の理解を深めるため、個別訪問のほか、住民向けの説明会を開催した。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 制度概要説明用パンフレット制作、住民向け説明会開催(町別説明会5回、住民向け制度説明会 4回) 文化庁との協議 (3年度まで文化財調査研究事業にて対応)
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 対象地区住民個別訪問による説明、意向確認実施 保存活用計画策定 文化庁との協議 (4年度から重伝建推進係を新設し、伝統的建造物群保存事業予算により対応)	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 特定物件同意書提出集約 文部科学大臣への選定申出
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
国文化財保存審議会選定諮問・答申 重伝建地区選定の決定・告示 伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		581	9,875
特定財源	国庫支出金	0	3,424
	都道府県支出金	0	205
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		581	6,246
人員数(人)	正規職員	2.0	4.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,074.0	28,148.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	14,074.0	28,148.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.7
総額		14,655.0	38,023.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	43	重要伝統的建造物群保存地区制度アドバイス謝礼 43
10節 需用費	36	消耗品費 30 食糧費 6
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12	伝建協出席負担金 12
その他	490	審議会委員報酬 145、会計年度任用職員報酬 0、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員費用弁償 210、普通旅費 36、その他 99

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	231	重要伝統的建造物群保存地区制度アドバイス等謝礼 231
10節 需用費	908	消耗品費 30、食糧費 6、印刷製本費 872
12節 委託費	7,695	特定物件建物調査 660、選定周知用横断幕 185、案内看板製作5,706、特定物件表示板作成 1,144
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	65	制度研修会等出席負担金 65
その他	976	審議会委員報酬 221、会計年度任用職員報酬 0、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員費用弁償 400、普通旅費 305、その他 50

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	製糸業繁栄した須坂を象徴する建物群等を保存し活用することは、市として必要な施策である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	建物群を保存するため、国の重伝建制度を活用しながら施策を実施することは事業を進めるうえで有効な手段である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	可能な限り事業効率を高め、コスト削減時に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須坂市須坂伝統的建造物群保存地区保存活用計画を告示し、重伝建地区選定のため申出の提出を行ったことで重伝建地区選定への段階が進んだ。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		須坂らしい歴史的景観を受け継がれ住民の共有の財産として後世に継承するとともに、まちづくりの活用や生活環境、文化的環境の向上と活力あるまちづくりの推進が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	荒井 裕清
	全体計画			経費区分	-	内線	3272
事務事業名	4320 文化施設管理事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費					
	事業	010000 文化施設管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市文化会館、須坂版画美術館などの芸術文化施設を有効に活用した、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。				<ul style="list-style-type: none"> ・須坂市文化会館、美術館等文化施設の管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう。 ・「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化施設の充実を図る。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。笠鉾会館ドリームホールを博物館分館とするため、2021年3月31日で指定管理者による管理を終了とした。	文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
芸術文化施設の有効、市民の自主的な文化活動の育成とともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。ふるさと納税型CFにより、展示資料の充実、文化施設の修繕等を行った。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 メセナホール及び美術館等について、次年度の指定管理者選定を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 旧小田切家住宅について、次年度の指定管理者選定を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		187,710	210,412
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	162,554	167,537
一般財源	25,156	42,875	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	530.7
	計	2,111.1	2,641.8
市民一人当たりの経費	3.6	4.1	
総額	189,821.1	213,053.8	

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,220	修繕料3,219、電気料1
12節 委託費	166,880	支障木伐採委託料2,724、看板作成委託926、指定管理者委託料(文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅)161,690、その他1,540
14節 工事請負費	2,053	クラシック美術館展示室照明LED化工事2,053
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,557	使用料及び賃借料(土地借上料、機器賃借料)15,128、備品購入費(展示資料)429

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,000	修繕料4,000
12節 委託費	182,355	指定管理者委託料（文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅）176,475、無線通信環境整備委託2,459、その他3,421
14節 工事請負費	2,879	文化会館ITV部分改修工事2,879
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,178	使用料及び賃借料15,117（土地借上料、機器賃借料）、備品購入費4,061、展示資料等購入費2,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団において、経験豊富な人材を活用し、様々なコンサート、講座等の事業を執り行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	指定管理者制度導入から10数年が経過し、制度自体の理解を含む制度運用自体の見直しが必要。市直営施設等との連携が難しい、直接の指示が難しい（お願いとなる） 入館者、利用者の増加に向けた広告宣伝など目標にむけ更なる努力を求めたい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理者とともに施設の維持管理を行っていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

文化施設等の指定管理施設の修繕等の対応について、指定管理者と連絡を密にし、照明のLED化工事、看板の設置や各種修繕など、適切な修繕を行っている。
今後財源（クラウドファンディングによる基金）が枯渇した後の修繕料等の財源確保については計画的な検討が求められる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、創意工夫による事業の刷新や利用者の満足度・利用数の向上、誰もが継続的に利用でき管理運営等に取り組んでいく必要がある

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
全体計画	平成30年度	～	令和 2年度	経費区分	実施計画事業費	内線	3272				
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承										
会計	01 一般会計										
科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費										
事業	020000 文化施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果					
所管する文化施設が建設から年数が経過し、改修の時期を迎えているため計画的に必要な改修を実施する。						老朽化の解消や法改正に対応する改修を実施し、今後も施設が安全・快適に利用することが可能となる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 笠鉾会館展示改修工事 笠鉾会館エレベータ改修工事 長寿命化基本調査（笠鉾・版画・人形）	メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 世界の民俗人形博物館長寿命化工事
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
アートパークイベント広場整備工事 世界の民俗人形博物館北側遊歩道工事	アートパークイベント広場整備工事 アートパークイベント広場バリアフリートイレ設置工事 版画美術館長寿命化改修工事設計
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
版画美術館長寿命化改修工事 世界の民俗人形博物館空調設備等改修工事設計	世界の民俗人形博物館空調設備等改修工事

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		62,960	162,780
特定財源	国庫支出金	2,508	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	38,400	146,400
	その他	18,400	0
一般財源		3,652	16,380
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	703.7	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	530.7
	計	703.7	2,641.8
市民一人当たりの経費		1.2	3.2
総額		63,663.7	165,421.8

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,262	イベント広場追加設計495、イベント広場トイレ建設設計監理2,255、人形博物館物置建設設計監理814、版画美術館長寿命化工事設計5,698
14節 工事請負費	53,416	アートパークイベント広場工事16,786、イベント広場石撤去495、イベント広場トイレ建設工事31,097、人形博物館物置建設工事5,038
18節 負担金補助及び交付金	220	水道分担金220
その他	62	回線手数料62

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,780	世界の民俗人形博物館空調設備等設計5,390、版画美術館長寿命化工事監理5,390
14節 工事請負費	152,000	版画美術館長寿命化工事152,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	版画美術館については、平成3年建築で、屋根、外壁、内壁、空調設備、機械設備等施設全般に経年劣化が見られる。工事により耐用年数の延伸を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	版画美術館、人形博物館ともに建築から30年以上が経過し、改修工事は急務である。照明のLED化等も行い施設環境の向上により入館者数の増加を見込む。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	起債等の財源を有効活用し実施。 今後も必要となる大規模改修の財源確保が課題。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

イベント広場整備工事や、イベント広場バリアフリートイレ建設工事を行い、新たな施設の必要な整備がある程度実施することができた。
今年から度も版画美術館などの長寿命化工事等を控えており、財源や、施設の休館調整など計画的な事業管理が求められる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、施設の安全性を最優先し、施設の整備を進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	中澤 公明
	全体計画			経費区分	部局長裁量枠	内線	285-9041
事務事業名	14139 文書館管理運営事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100612 教育費・社会教育費・文書館費					
	事業	010000 文書館管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市の歴史資料として重要な非現用公文書や古文書等を収集・保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに公開して、市民への説明責任及び市の適切な行政運営に資すると共に、文化の振興に資する				須坂市文書館において、保存年限が経過した非現用行政文書を選別・収集し、整理・保存するとともに一般の閲覧等に供する。また、地域の古文書等を収集し、目録整備・保存を行い、閲覧等に供する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
文書等の公開活用とともに個人等所蔵の古文書収集・整理目録化を通じて資料散逸を防いだ。	非現用公文書及び個人等所蔵の古文書を収集・整理目録化を行い、文書等の公開活用とともに史資料の散逸を防ぐ。また、収集史料の紹介を冊子、展示により行った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開、ブログ紹介
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開、ブログ紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開、ブログ紹介

指標名	文書館来館者数				
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標		252	277	305
	実績	157	229	172	
指標選定の理由	2021年度で設置から4年が経過する新しい施設であるので、まず存在を知り、資料収集や学びの場として認識をしてもらう必要がある。				
最終年度目標の根拠	これまでの実績を鑑みて設定 2022年度を基準に10%ずつ増				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		14,930	18,688
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	7	89
一般財源		14,923	18,599
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	会計年度(フル)	2.0	2.0
	会計年度(パート)	2.0	4.0
人員コスト	正規職員	703.7	2,111.1
	会計年度(フル)	7,162.0	7,162.0
	会計年度(パート)	3,538.0	7,076.0
	計	11,403.7	16,349.1
市民一人当たりの経費		0.5	0.7
総額		26,333.7	35,037.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	謝礼4
10節 需用費	971	事務用消耗品162、燃料費15、食糧費(来客用お茶)1、文書目録印刷746、車両等修繕47
12節 委託費	346	施設警備保障委託346
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史料協負担金3
その他	13,606	職員人件費(給料、報酬、手当)11,137、共済費1,973、旅費149、役務費154、機器賃借料187、その他6

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	40	謝礼40
10節 需用費	1,119	消耗品費223、燃料費15、食糧費3、印刷製本費828、修繕料50
12節 委託費	349	警備保障委託料349
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史協負担金3
その他	17,177	職員人件費(給料、報酬、手当)12,813、共済費2,290、旅費173、役務費112、機器賃借料187、車両購入1,600、その他2

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域の古文書類の滅失・流失を防ぎ、郷土の歴史保存に資する。 健全な民主主義の根幹を支える知的資源とし重要な行政文書を保存し、市民への説明責任を果たすことに資する。 公文書館法に規定された自治体が行うべき業務 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域等の古文書類の滅失・流失を防いでいる。 郷土史家、研究者等の研究に役立っている。 永久に保存すべき文書の取捨選択により、書庫整理に貢献している。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 最低限必要な資源で運営している。 	

振り返り(決算年度の取組み課題)

・2022・2023年度に旧町村文書及び移管行政文書が大量に移管されたことで、整理が追い付かない状況である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・文書館の知名度・認知度が未だ低いと思われるので、引き続き向上に勤める必要がある。 	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>古文書の収集保管、解読者の育成、活用をさらに博物館等と連携して進めていく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者		横田宏樹
全体計画		経費区分 ー 内線 3628
事務事業名	4322 体育施設管理事業	
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課	
施 策	04021400 スポーツ活動の充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費
	事業	010000 体育施設管理事業
事業目的		事業概要・効果
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。		体育施設の使用予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
体育施設修繕料 8,948千円 シルバー人材センター施設管理業務委託15,092千円 施設管理委託料17,670千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 6,013千円 シルバー人材センター施設管理業務委託13,502千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
体育施設修繕料 7,265千円 シルバー人材センター施設管理業務委託17,632千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 8,970千円 シルバー人材センター施設管理業務委託19,622千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
体育施設修繕料 9,000千円 シルバー人材センター施設管理業務委託25,800千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	

指標名	市民1人あたりのスポーツ施設利用回数						
算式						単位	回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	6	6	6	6	6	
	実績	3.2	3.7	4.8			
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため施設利用率を高める						
最終年度目標の根拠	2019年度の体育施設の人口一人あたりの使用回数が5.5回であることから利用回数を高くするために6回と目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		58,703	68,692
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	13,352	13,042
一般財源		45,351	55,650
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3.0	2.0
人員コスト	正規職員	7,037.0	7,037.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	5,307.0	3,538.0
	計	12,344.0	10,575.0
市民一人当たりの経費		1.4	1.5
総額		71,047.0	79,267.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	23,020	消耗品費846、燃料費995、印刷製本費118、体育施設電気料10,275、ガス53、上下水道料1,788、修繕料8,944、医薬材料費1
12節 委託費	21,987	除雪委託料542、警備保障委託33、電気保安業務委託料403、施設整備委託料1,310、害虫防除委託料77、シルバー施設管理業務委託料19,622
14節 工事請負費	1,025	米持マレットゴルフ場施設解体工事1,025
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	12,671	会計年度任用職員報酬5,957、同手当1,195、同社会保険料949、同費用弁償74、土地借上料等2,250、原材料費638、備品購入費174、その他1,434

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	23,264	消耗品費1,032、燃料費950、印刷製本費88、体育施設電気料10,331、ガス66、上下水道料1,777、修繕料9,000、医薬材料費20
12節 委託費	28,978	除雪委託料400、警備保障委託33、電気保安業務委託料418、施設整備委託料2,200、害虫防除委託料127、シルバー施設管理業務委託料25,800
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	16,450	会計年度任用職員報酬6,550、同手当2,296、同社会保険料1,137、役務費1,683、土地借上料等2,072、原材料費800、備品購入費1,820、その他92

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	事故防止の観点から老朽化した設備の計画的な修繕等が必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	有効性については、何れの項目も現状維持	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 北部運動広場については、人工芝の敷設により利用者が増加しており、今後、使用料の増加が見込める。 土地賃借料が高額であったため、2023年6月に米持マレットゴルフ場を閉鎖した。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の要望はあるもののコストが過大であるため使用料の見直しが必須です。 福島スポーツ広場の土地賃借料もコスト削減が必要です。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、スポーツ施設の創意工夫による施設の刷新や利用者の満足度・利用数の向上、誰でもが継続的に利用でき、充実要望、防災の観点等からも施設管理は重要。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田・土屋
全体計画	令和 6年度 ~ 令和 8年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3628		
事務事業名	10589 体育施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021400 スポーツ活動の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費									
	事業	020000 体育施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
安心安全に体育施設を使用してもらうために施設の充実を図る。						安心安全に体育施設を使用してもらうためにバスケットゴール等の改修を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
柔剣道場耐震補強等工事設計 6,248千円 北部運動広場人工芝等工事測量、設計 990千円 体育センター耐震補強等工事 149,710千円 柔剣道場耐震補強等工事 45,760千円	北部運動広場人工芝等工事 178,145千円 柔剣道場耐震補強工事 繰越 98,285千円 " 設計監理 繰越 5,819千円
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
北部運動広場観覧席 1,100千円	特になし
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
北部体育館照明LED化工事59,900千円 北部体育館バスケットボールゴール改修工事2,000千円	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	61,930
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	18,000
	地方債	0	22,900
	その他	0	11,900
一般財源		0	9,130
人員数(人)	正規職員	0.0	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	2,814.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	2,814.8
市民一人当たりの経費		0.0	1.2
総額		0.0	64,744.8

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,000	設計委託料2,000
14節 工事請負費	59,900	工事請負費59,900
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	30	手数料30

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	国民スポーツ大会開催にあたり、改修が必須である照明のLED化工事の計画をした。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	北部体育館の使用者の安全確保のため、バスケットボールゴール改修工事を計画した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	来年度の工事のための特定財源の確保のため、可能な補助金等を確認した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

来年度実施の2事業について、特定財源（スポーツ振興助成金、県補助金、脱炭素化事業債）の確保のための調整を行った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成や防災の観点、利用促進等からも施設整備は有効。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者 横田宏樹 全体計画 経費区分 ー 内線 3628	
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課
施 策	04021400 スポーツ活動の充実
予算 科目	01 一般会計 100703 教育費・保健体育費・体育振興費 020000 生涯スポーツ事業
事業目的	事業概要・効果
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。	学校体育施設の開放や各種大会を主催し、スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 障がい者スポーツイベントを開催し、運動機会の創出と障がい者への理解を深める。 子ども向けスポーツ教室を引き続き須坂市スポーツ協会に委託する。 長野地域連携中枢都市圏事業に参加し、ホームタウン活性化、スポーツ拠点づくり、地域密着プロスポーツ応援を図る。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ委託、リワイルドニンジャスノーハイランドのリフト券助成、各団体への負担金交付	各種スポーツ大会を主催、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成など
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成など	各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成など
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成など	

指標名	日頃スポーツをする・観る・関わっている人の割合				
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	40	40	40	40
	実績	-	36.3	36.4	
指標選定の理由	スポーツを通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や活力が醸成されるまちを目指す				
最終年度目標の根拠	平成26年度に市民意識調査で週1回以上スポーツをしている人の割合が31%とした結果からスポーツをする人の他にスポーツを観る、関わっている人の割合を加え9%増の40%として目標を定めて取り組むこととした				
指標名	子ども向けスポーツ教室の参加人数				
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	1,400	1,400	1,400	1,400
	実績	787	1,127	1,098	
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため子どもが参加するスポーツ教室の参加者を増やす				
最終年度目標の根拠	子どもの頃からスポーツに親しむきっかけづくりを行い、継続してスポーツに親しんでもらうために委託しているキッズスポーツの述べ参加人数を2019年度1356人を募集人員の関係もあるが1400人と設定した				
指標名					
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		38,208	37,967
特定財源	国庫支出金	2,965	2,990
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,352	4,783
一般財源		30,891	30,194
人員数(人)	正規職員	2.1	2.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.9	0.9
人員コスト	正規職員	14,777.7	16,888.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,592.1	1,592.1
	計	16,369.8	18,480.9
市民一人当たりの経費		1.0	1.1
総額		54,577.8	56,447.9

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	967	スポーツ教室指導者謝礼704、全国大会出場激励金263
10節 需用費	757	消耗品509、食糧費59、印刷製本費76、修繕料113
12節 委託費	2,848	子ども向けスポーツ教室委託料1,694、パルセイロ応援バス224、交流イベント930
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	30,109	須高行政事務組合負担金(プール)21,059、信州須坂ハーフマラソン負担金5,600、スキー場リフト負担金3,450
その他	3,527	会計年度任用職員賃金1,540、同職員手当315、同社会保険料315、自動車借上料259、機器賃借料518、清掃用具借上218、備品購入302、他60

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,151	スポーツ教室等指導者謝礼811、全国大会参加者激励金340
10節 需用費	788	消耗品572、食糧費100、修繕料116
12節 委託費	2,956	子ども向けスポーツ教室委託料1,727、パルセイロ応援バス事業事務委託229、スポーツ交流イベント1,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	28,471	須高行政事務組合教育費負担金(プール)19,471、マラソン負担金 5,600、スキー場リフト負担金3,400
その他	4,601	会計年度任用職員報酬1,618、同職員手当480、同社会保険料354、自動車借上料528、清掃用具借上料218、機器賃借料518、備品購入費780、他105

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、各種大会開催の要望は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	学校体育施設の開放により使用者のニーズに対応することで地域のスポーツ振興を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	マラソン大会の財源に、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

2028年度に開催される国民スポーツ大会の準備をすすめるにあたり人員体制や、当市の開催競技であるトランポリン競技の普及が課題である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
別紙による		実施計画の目指す姿を醸成するため、スポーツに親しむ施策とスポーツ活動継続への支援が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	横田宏樹
	全体計画			経費区分	-	内線	3628
事務事業名	4325 体育団体等助成事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021400 スポーツ活動の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費					
	事業	030000 体育団体等助成事業					
事業目的				事業概要・効果			
体育団体の活動を支援し、スポーツの振興に努める				須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツの競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、スポーツの振興を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,492千円 各スポーツ団体に補助金3,948千円	須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,569 各スポーツ団体に補助金4,823 年2回開催される駅伝大会に負担金150
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,723 各スポーツ団体に補助金5,351 年2回開催される駅伝大会に負担金188	須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,772 各スポーツ団体に補助金5,975 年2回開催される駅伝大会に負担金350
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託7,971 各スポーツ団体に補助金6,294 年2回開催される駅伝大会に負担金350	

指標名	スポーツ協会構成人数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	
	実績	3,703	3,492	3,521			
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるためスポーツ協会に加入している団体の構成人数を増やす						
最終年度目標の根拠	2019年度のスポーツ協会加盟団体の構成人数は4,172人となっていることから4,200人として目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		13,098	14,615
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源	13,098	14,615	
人員数(人)	正規職員	0.4	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,814.8	3,518.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,814.8	3,518.5
市民一人当たりの経費	0.3	0.3	
総額	15,912.8	18,133.5	

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,772	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託(スポーツ振興委託料)6,772
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,326	須坂市スポーツ協会補助金5,976、各種負担金350
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	7,971	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託（スポーツ振興委託料）7,971
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,644	須坂市スポーツ協会に対する大会開催負担金350、補助金6,294
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須坂市スポーツ協会及び加盟団体により各種スポーツの振興が図られている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 指導者研修会など実施されている。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、各種大会開催の要望は高い。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き効率的に事業を実施していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

少子化高齢化により、スポーツ協会加盟団体数及びその会員数が減少傾向にあるが、当市のスポーツ振興のため、引き続きスポーツ協会及びスポーツ団体を支援していく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

別紙による

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

実施計画の目指す姿を醸成するため、引き続き、体育団体の活動を支援し、スポーツ振興に努める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--